

# FOUR 4大協奏曲の饗宴 CONCERTOS



## サン=サーンス

チェロ協奏曲 第1番 イ短調 作品33

Camille Saint-Saëns : Cello Concerto No.1 in A minor, Op.33

## ブルッフ

ヴァイオリン協奏曲 第1番 ト短調 作品26

Max Bruch : Violin Concerto No.1 in G minor, Op.26

## ショスタコーヴィチ

ピアノ協奏曲 第2番 ヘ長調 作品102

Dmitry Shostakovich : Piano Concerto No.2 in F major, Op.102

## ベートーヴェン

ヴァイオリン、チェロ、ピアノの為の三重協奏曲 八長調 作品56

Ludwig Van Beethoven : Concerto for Violin, Cello and Piano in C major, Op.56 (Triple Concerto)

**Cello** : Takefumi Asakawa 浅川 岳史

**Violin** : Mika Asakawa 浅川 実夏

**Piano** : Keiko Asakawa-Golden 浅川ゴールドデン 啓子

**Conductor** : Kazuyoshi Tanaka 田中 一嘉

**Orchestra** : NHK Symphony Danyu Orchestra N響団友オーケストラ

**2016.8.19 FRI** 18:00 OPEN  
18:30 START

クラニー文化ホール (山梨県立県民文化ホール) 小ホール

入場料 一般 4,000円 学生(小・中・高・大) 2,000円

後援 東京藝術大学同声会 山梨県芸術文化協会 山梨日日新聞社 山梨放送 テレビ山梨 内藤楽器(株) (株)河合楽器

チケット取扱 コラニー文化ホール 内藤楽器本店 内藤楽器ハーモニーBOX カワイ甲府ショップ 第一楽器 YBS受付

主催 浅川音楽企画

問合せ 055-252-4533

# PROFILE



## Cello

Takefumi Asakawa  
浅川 岳史

甲府一高を卒業。東京藝術大学を卒業後、シカゴ・ルーズベルト大学大学院より奨学金を得てアメリカへ留学。2000年、シカゴ・ルーズベルト大学ガッツホールと東京オペラシティ・リサイタルホールにてソロリサイタルを開催。同年、N響団友オーケストラと東京エレクトロン・文化ホールにて「セロ弾きのゴーシュ」を共演。2003年、N響団友オーケストラとめぐるパーシモンホールにてベートーヴェンのトリプルコンチェルトを共演。同年、ベトナムのホーチミンにて日本・ベトナム外交関係樹立30周年記念レセプションで演奏。2005年、山梨交響楽団とコラニー文化ホールにてドヴォルザークのチェロ協奏曲を共演。同年、山梨大学管弦楽団とコラニー文化ホールにてクリスチャン・バッハのチェロ協奏曲を共演。2013年、甲府室内合奏団とコラニー文化ホールにてポツェリニのチェロ協奏曲を共演。その他、プロのオーケストラエキストラ奏者としてオーケストラコンサートに多数出演。また、指導者として現在まで県内外のアマチュアオーケストラなどでチェロセクションのトレーナーを務めるほか、山梨・東京にて浅川チェロ教室を主宰。これまでに、故)馬場省一、三木敬之、菅野博文、ハンス・ヤンセン、ナタリヤ・コマ、ジョン・シャープの各氏に師事。



## Violin

Mika Asakawa  
浅川 実夏

東京藝術大学卒業、同大学院修士課程修了。その後渡米、ボストンニューイングランド音楽院にてディプロマを取得。1999年、ローマ音楽祭協奏曲コンクール第1位、ならびにその栄誉として同音楽祭にソリストとして招かれる。2000年、東京交響楽団とラヴェルのツィガーヌ、同年、ニューヨークシンフォニエッタとモーツァルトのコンチェルトを共演。2002年、山梨県芸術祭オペラカルメンのコンサートミストレスを務める。2003年、めぐるパーシモンホールにてN響団友オーケストラとベートーヴェンのトリプルコンチェルト、2005年、東京の企業オーケストラとメンデルスゾーンの協奏曲、2006年、山梨大学管弦楽団とチャイコフスキーの協奏曲を共演。2006年、日本・ブルガリア文化交流コンサートに出演。2010年、キングスウェル・オープン記念のチャリティーコンサートに出演。2012年、山梨県議会議事堂の議場コンサートや笛吹芸術劇場コンサートで山梨交響楽団のソリストとして出演。2014年、山梨交響楽団とラロのスペイン交響曲を共演。その他1999年以来、ボストンや東京、山梨にてリサイタルや室内楽を開催している。現在、ソロ・室内楽を中心に、CM・CD等のレコーディングに携わるなど、幅広い演奏活動を行っている。また、県内外でセクショントレーナーとして指導する他、東京・山梨にて浅川ヴァイオリン教室を主宰。これまでに、水野佐知香、大谷康子、山岡耕作、ザハール・ブロン、ゲルハルト・ボッセ、マルコム・ロー、篠崎史紀の各氏に師事。



## Piano

Keiko Asakawa-Golden  
浅川ゴールデン 啓子

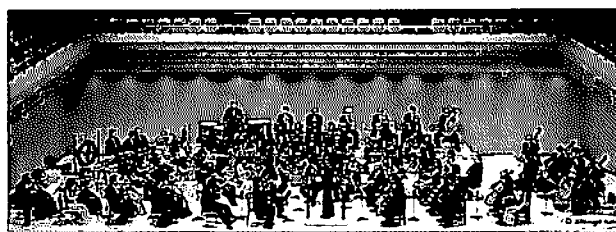
甲府一高を卒業後、1989年渡米。1994年ノースウエスタン大学卒業。1995年同大学院修了。1993、94、95年に学内外でソロのリサイタル開催。1993年、レニングラードシンフォニックホールでのコンサートに出演。1995年、サヴァントリオのピアニストとして活動開始。同トリオは1995、97年、東京、山梨、長野にてリサイタル開催。また同トリオは米国政府芸術協会より奨学金を受けアーティスト・イン・レジデントとしてアリゾナ州に9ヶ月間派遣された。2000年、ソフィアにてミケランジェリ協会室内合奏団とバッハの協奏曲を共演、また同ツアーでブルガリア著名ヴァイオリニスト、ストイカ・ミラノヴァ氏とブルガリア各地でメンデルスゾーンのダブルコンチェルトを共演。2003年、めぐるパーシモンホールにてN響団友オーケストラとベートーヴェンのトリプルコンチェルトを共演。2006年、ブルックリン音楽院オーケストラとショパンのピアノ協奏曲第2番を共演。2011年よりWindsor Trioのピアニストとしてブルックリンを拠点に演奏活動開始。その他ソリスト、室内楽演奏者、伴奏者として活動を行っている。伴奏法、ピアノ教育方についての講義や公開レッスン、またピアノ教本の編集も手がけている。現在ニューヨーク市ブルックリン在住。これまでに、浅川豊夫、馬場那岐子、笠間春子、ローレンス・テイヴィス、トム・サワー、ベイジ・ミュナヴィツチ各氏に師事。



## Conductor

Kazuyoshi Tanaka  
田中 一嘉

東京生まれ。桐朋学園大学音楽学部卒業。指揮を故斎藤秀雄、小澤征爾、秋山和慶、尾高忠明の各氏に師事。コントラバスを江口朝彦、堤俊作の両氏に師事する。在学中より同大オーケストラ定期演奏会、オペラ公演等を指揮し、故斎藤秀雄、森正、秋山和慶の各氏、及び、ブローダス・アール氏、河野俊達氏、フランコ・フェラーラ氏らの指導を受ける。学外では、日本オペラ協会、長門美保歌劇団、東京アカデミー合唱団指揮者として、数多くのオペラ、特に宗教音楽分野での実績を積む。1976年、大学在学中に、第4回民音指揮者コンクール(現、東京国際音楽コンクール)入選。奨励賞受賞。卒業後、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団指揮者、群馬交響楽団指揮者を歴任。これまでに、東京交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、札幌交響楽団、九州交響楽団、ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉、オーケストラ・アンサンブル金沢等、日本の主要オーケストラを指揮する。1992年には、ヤナーチェク春の国際音楽祭(チェコ・オストラヴァ)にてヨーロッパデビュー。1995年には、カルロピ・ヴァリ交響楽団を指揮。2000年、ドイツ・ロットヴァイル夏の音楽祭、2001年、ベルリン日本週間での公演、2003年、ウィーン・ムジークフェラインザールでの日埃合同第九演奏会等、その活動は多岐に及んでいる。昭和音楽大学講師。



## Orchestra

NHK Symphony Danyu Orchestra  
N響団友オーケストラ

1926年に結成され87年の歴史を持つNHK交響楽団は、約120人の団員が毎月定期演奏会をNHKホールやサントリーホールで開催するほか、演奏旅行を日本各地や世界の各国で行い、日本を代表するオーケストラとして世界的水準を維持し音楽文化向上を担って活動しています。

このオーケストラで永年活躍し定年を迎えた楽団員が現役時代に培った演奏技術と経験を活かし結成されているのが「N響団友オーケストラ」です。団友とはN響に永年在籍し定年退職した者、10年以上のコンサートマスター在籍者、特にN響で功績があった団員などのベテランに対してN響が「団友」の称号を与え、業績を称えた処遇をしている者をいいます。

演奏するプログラムは「序曲」「前奏曲」「交響曲」「組曲」「円舞曲」「行進曲」「映画音楽」「歌曲」「合奏曲」そして「管弦楽曲」など多くのレパートリーを用意しています。